

## 平成24年度 第7回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成25年3月13日(水) 13:30~15:30
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 13名  
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査9名(1名欠席)
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成24年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・資料1  
(2) 平成25年度小平市立公民館事業計画(案)・・・資料2  
(3) 行事等開催結果報告・・・資料3  
(4) 各公民館主催講座チラシ・・・資料4  
(5) 平成24年度第6回公民館運営審議会会議要録・・・資料5  
(6) 平成24年度第3回東京都公民館連絡協議会委員部会研修会  
第11回東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会・・・資料6-1  
(7) 第10回東京都公民館連絡協議会職員部会報告書・・・資料6-2
- 6 次第 (1) 館長報告  
(2) 平成24年度公民館定期講座実施状況について  
(3) 平成24年度東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会・職員部会からの報告について  
(4) 平成25年度小平市立公民館事業計画(案)について  
(5) その他

## 会議の概要

### 1 館長報告

- (1) 仲町公民館・図書館改築工事及び旧仲町図書館等解体工事の住民説明会について
- (2) 3月市議会定例会一般質問について
- (3) 平成25年度予算概要
- (4) 小平市立仲町公民館・仲町図書館改築工事（付帯設備工事）請負契約の締結について

### (質疑応答)

委員 仲町公民館・図書館の改築について、コンペで採用されたデザインは、市民や公民館運営審議会に提示されたのか。工事請負契約には公民館がどの程度関わってきたのか。また、市民や公民館運営審議会の意見をどれだけ反映できるのか。

事務局 基本設計については、プロポーザル方式を採用し、庁内で審査を行い、決定した業者をHP等で公開した。パブリックコメントで仲町公民館・図書館の建替えの方針について意見を募集した。方針の決定後、平成22年12月に3回の住民説明会を行い、市民からの意見を聞いた。さらに、基本設計の内容について、平成23年3月に住民説明会で報告した。実施設計段階では、たてもの整備課が業務を担うことになったが、公民館で把握している部分については、公民館運営審議会の中で、進捗状況を説明してきた。

委員 施設をつくるときには、利用者や職員が協議をしながら進めていくことが望ましいと思われる。

事務局 改築に関しては、方針が決定する前に、利用者からの意見を募り、部屋の具体的な設備の内容等に反映している。

委員 要望を聞くだけでなく、図面ができた段階で、利用者、職員、設計者が一緒に協議することで、良いものができるのではないかと思う。

委員 新仲町公民館・図書館の愛称を募集するという話を聞いたが、その選定については、市が行うのか。公民館にふさわしくないものが出たときにどう対応するのか。

事務局 愛称の選定委員会の予算については、図書館予算で計上しているが、詳細については決定していない。

委員 定期利用団体を見直していくという話を聞いた。議会では、公共施設の利用団体の公共性の高い団体とそうでない団体を、今後分けていくという話も出ていたが、公民館ではどのように進めていくのか。有料化にも関連があるのか。

事務局 定期利用団体については、まだ具体的には決まっていない。平成 25 年度から教育振興基本計画が施行されるが、その中で、生涯学習については、学習活動の地域還元が謳われているので、定期利用団体のあり方等にも反映させていくべきだと考えている。また、使用料については、財政課が中心となって検討している。使用料を算定する際に、地域貢献をどう評価するか、また、地域貢献によってどの程度減免するかということが議論されている。

委員 有料化の方向で進めていくということか。

事務局 基本的には、平成 22 年度の小平市受益者負担の適正化検討結果報告書に基づいて進めていく。この中で、使用料については負担するという考え方が出ているので、基本的には負担してもらうが、社会的に貢献しているものについては減免措置を検討している。

委員 具体的な考え方はあるのか。

事務局 現段階では、どこで、誰が、どのように判断していくのかということが大きな議論になっている。

委員 公民館運営審議会としてはどのように関わっていけるのか。

事務局 具体的なものが出た段階で報告する。

委員 検討の余地がある段階で報告を受けられるのか。

事務局 平成 22 年度の小平市受益者負担の適正化検討結果報告書に関する請願を受けて、広く市民の意見を聞いてから決定するとされている。

委員 例えば、趣味教養のサークルには使用料を負担してもらい、子育て支援等は負担しないとするのも一つのやり方だ。しかし、分野が趣味教養であっても、広くひらかれていて、つながりを生むものであったり、子どもたちや福祉施設に還元していれば、それが貢献性が高いとも言える。また、公民館が趣味教養の講座をやっているにもかかわらず、そうした団体の振り分けによって、自らを貢献性が低いと認めることにもなりかねない。公民館講座に制限を加え、公民館の衰退にもつながりかねないので、慎重に考えるべきだ。

## 2 平成 24 年度公民館定期講座実施状況について

事務局より資料 1 について説明した。

### <主なもの>

中央公民館では、3月9、10日で小平市公民館まつりが開催された。今年度は全館で催しが行われ、各サークルのブースや舞台発表が好評だった。講演会は市制施行 50 周年を記念し、「小平の魅力 その歴史を探る」と題して開催し、多くの来場者があった。

また、3月13日から、ギャラリーで学習成果発表展が始まり、今年度の講座や事業の成果、受講者の活動の様子等を展示している。同じく、ふれあいプロムナードでは、「忘れない 3.11 展」と題して、小平警察署をはじめとする 24 団体が集まり、各分野からの展示を行っている。

1月19、20日に行われた大沼公民館まつりについては、第六中学校の箏曲部、吹奏楽部の発表や、生徒がボランティアとしてキッズコーナー等の運営に参加したことがまつりを盛り上げた。こだいら水と緑の会の方による講演は、小平市の用水路について貴重な話を聞くことができ、来場者の好評を得ていた。また、昨年度の講演を行った岩手県名取市の関上公民館長とのつながりで、名取市名産の笹かまぼこの販売を行い、その売り上げ等については、昨年同様、名取市に義援金として送る。

(意見等)

委員 高齢者向けに、パソコン講座等で市の HP を見るように位置づけて、市の情報の宣伝をしたり、外出が難しい方もパソコンで情報を得たりできるようにしてほしい。

事務局 平成 25 年度はインターネットの予算があるので、全館でインターネットを活用した講座の実施を検討している。

## 3 平成 24 年度東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会・職員部会からの報告

について

委員、事務局より資料 6 について説明した。

(意見等)

委員 委員部会の研修会は、有料化についての話だったが、町田市の事例では、この時期に立派な生涯学習センターを建てたことが、有料化の原因になったと言われている。小平市でも、仲町公民館・図書館の建替えに大きな予算が割かれているので心配だ。

委員 新たな建物をつくらなくても、空き教室等を利用する等の工夫できないか。高齢化が進む中で、時代の変化に伴って、公民館の基本となる部分を考えていきたい。

4 平成 25 年度小平市公民館事業計画に向けて  
事務局より資料 3 について説明した。

(意見等)

委員 受益者負担についてが、新年度の大きな議題になると思う。受益者負担について、公民館の方向性が事業計画のどこかに盛り込まれるべきではないか。

事務局 受益者負担については、主管課が財政課になるので、安易に事業計画には盛り込めない。

委員 市民が正しい判断ができ、正しい受益者負担が行われるように、議論していきたい。

委員 結いプロジェクトは今年度の素晴らしい取り組みの一つだったと思うが、次年度、一つの項目として取り上げてはどうか。

事務局 結いプロジェクトについては、中央公民館で友の会や利用者懇談会のような利用者団体をつくる方向で、講座受講者、利用団体の代表者を集めて協議を行っている。一つの講座としての結果がまだ出ていないので、その結果を見て考えていく。

- 委員 NPO や若者が公民館で活動できる場をさらに増やすように推進事項に盛り込み、地域に愛着を持って、地域とともに成長できるような事業を展開してほしい。
- 委員 公民館のあり方の検討については、「検討し、その結果を報告する」とあるが、公民館が検討し、公民館運営審議会で報告するのではなく、一緒に協議していただける場を設けてほしい。
- 事務局 あり方については、小平市第二次行財政再構築プランの一つにもなっているので、その関連の報告事項があれば報告する。また、内部ではあり方検討プロジェクトが立ち上がっているので、公民館運営審議会とも一緒に協議していければと考えている。
- 委員 仲町公民館・図書館については、これからどのように魅力的な施設にしていくかを前向きに考えていくべきだ。武蔵野プレイスのように、公民館、図書館、カフェ等、おしゃれで若い人が多く集まる、楽しい場所にしていく工夫を考えていきたい。また、図書館の利用時間は公民館より短いので、合わせることができれば、さらに利便性が高まるのではないかな。
- 事務局 そのような利用形態には、どうしても経費がかかってしまうものなので、利用率等も考慮しながら検討していく。

## 5、その他

次回は、4月16日（火）午後1時30分より、中央公民館会議室にて開催する。